

氏 名 川 崎 謙 一 郎

所 属 ・ 職 名 数学教育講座 (代数学)・ 助教授

研究室電話番号 0742 - 27 - 9178 (ダイヤルイン)
0742 - 27 - 9313 (FAX)

電子メールアドレス kawaken@nara-edu.ac.jp

最終学歴及び学位 早稲田大学大学院 理工学研究科 数学専攻 博士課程後期 単位取得退学 (1996)
博士 (理学) 早稲田大学 (1998)

所 属 学 会 等 日本数学会, 日本数学教育学会

専 門 分 野 可換代数

研究と教育について

研究のテーマは, 局所コホモロジー加群の構造に関する研究です。

数学は古い歴史を持ちます。バビロニアでは 2 次方程式を取り扱っていた記述がみられる紀元前 2000 年ごろの粘土版が出土していると聞きます。そののち, ギリシア で 1 つの数学の体系が生まれ, まとめられました。Euclid 原論です。Euclid 原論は, 少ない公理系から種々の定理を導くといった手法により書かれています。より少ない公理公準から非常に豊富な数学の内容を得ています。実用云々というよりは, 人間の知的好奇心から溢れ出てくるあくなき探究心の結晶であるといえると思います。紀元前 300 年ごろには既に体系化されていたのには非常に驚きます。いろいろな人々の努力にも関わらず, 今もなお, 日本の学校教育における「理数科嫌い」問題の議論は絶えないところです。算数・数学を教える先生になるだろう学生のみなさんには, 子どもたちに算数・数学に対する自分の「夢」を少しでも語れるようになって欲しいと願いつつ, 日々の授業に悪戦苦闘しているところです。

主な研究業績

- ・ (数学) `On finiteness properties of local cohomology modules over Cohen-Macaulay local rings, preprint.
- ・ (数学) `On the highest Lyubeznik number', Mathematical Proceedings of the Cambridge Philosophical Society, 132, (2002), pp.409--417 (英国), 単著.
- ・ (数学) `Cofiniteness of local cohomology modules for principal ideals', Bulletin of the London Mathematical Society, 30, (1998), pp.241--246 (英国), 単著.
- ・ (数学) `On the finiteness of Bass numbers of local cohomology modules', Proceedings of American Mathematical Society, 124, (1996), pp.3275--3279 (米国), 単著.
- ・ (数学教育) `Proof of without words: Viviani's theorem', Mathematics Magazine, vol.78, no.3, June(2005), p.213 (米国), 単著.

主な授業担当科目

代数基礎(教員養成課程), 線形代数(教員養成課程), 代数構造入門(教員養成課程), 代数構造(教員養成課程), 基礎数学 B (総合教育課程)

学 会 活 動 研究集会「射影加群とベクトル束 およびその周辺」H12.9.22 (金)
場所: 奈良教育大学教育実践総合センター多目的ホール 世話役
第 15 回可換環論セミナー 場所: ならまちセンター会議室 2, 3 世話役など

社 会 的 活 動 「正 12・20 面体 ~ 1 体積, 2 紙風船を作ろう ~」奈良県中学校・高等学校教員 10 年目研修 H16.7.26 (月)
平成 13 年度公開講座「帯びの不思議 ~ そして数学の不思議・面白さ ~」
Mystery of bands ~ towards the wonders and interests of Mathematics
H13.8.11 場所: 奈良教育大学教育実践総合センター多目的ホールなど

講 演 の テ ー マ 「局所コホモロジー加群の有限性に関する最近の話題」H16.10.15 (金)18:00 ~
場所: 早稲田大学 14 号館 7 階 717 AB 室(早稲田大学教育学部 7 階セミナー)
など